

平成29年度第3四半期

厚生年金保険給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



全国市町村職員共済組合連合会
National Federation of Mutual Aid Associations for Municipal Personnel

目次

- ・ 平成29年度 第3四半期運用実績(概要).....P 2
- ・ 平成29年度 市場環境(第3四半期).....P 3
- ・ 平成29年度 資産構成割合.....P 6
- ・ 平成29年度 運用利回り.....P 7
- ・ 平成29年度 運用収益額.....P 9
- ・ 平成29年度 資産額.....P11
- ・ 資金運用に関する専門用語の解説(50音順).....P12

平成29年度 第3四半期運用実績(概要)

運用利回り (第3四半期)	+ 3. 60%※修正総合収益率(時価) + 0. 86%※実現収益率(簿価)
運用収益額 (第3四半期)	+ 2, 020億円※総合収益額(時価) + 417億円※実現収益額(簿価)
運用資産残高 (第3四半期末)	5兆6, 531億円※時価

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

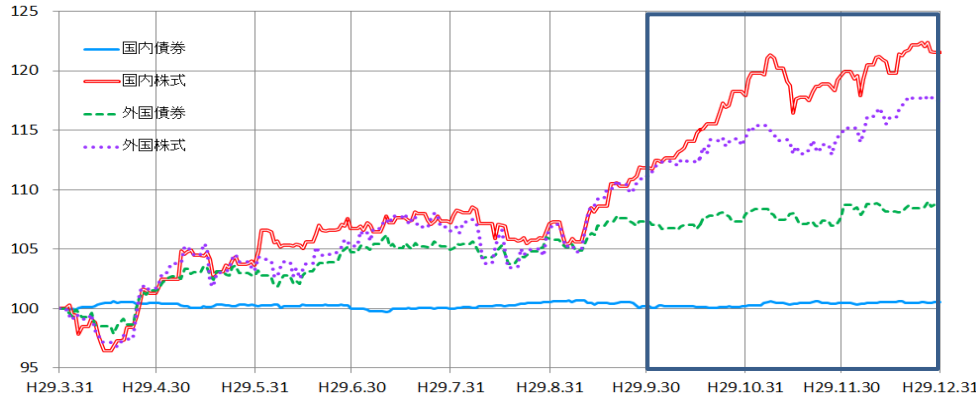
(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

平成29年度 市場環境 (第3四半期)①

1. ベンチマーク収益率の推移

H29.3.31 = 100



資産区分	ベンチマーク	収益率			
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	年度通期
国内債券	NOMURA-BPI総合	0.02%	0.18%	0.33%	0.53%
国内株式	TOPIX(配当込み)	6.76%	4.74%	8.69%	21.54%
外国債券	FTSE世界国債(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	4.76%	2.46%	1.29%	8.73%
外国株式	MSCI ACWI ex. JAPAN(円ベース、配当込み)	5.26%	5.60%	5.69%	17.49%
合計		3.70%	3.02%	3.88%	10.98%

※ 合計は資産構成割合が全て基本ポートフォリオの中心値である場合のベンチマーク収益率

2. 主な市場動向

【国内債券】

期初は、欧米の長期金利が上昇したことなどをを受け、10年国債利回りは上昇(債券価格は低下)しました。10月末から11月にかけては、衆議院総選挙で自民党が圧勝し、金融緩和策継続観測が高まったことなどをを受け低下(債券価格は上昇)しました。その後、欧米の長期金利が上昇したことなどをを受け、10年国債利回りは上昇(債券価格は低下)に転じましたが、ベンチマーク収益率は+0.33%となりました。

【国内株式】

前半は好調な企業業績や、衆議院総選挙の結果などをを受けて約26年ぶりの水準まで上昇しました。その後、高値警戒感や円高ドル安などにより一時下落する場面もあったものの、好調な企業業績や税制改革進展期待などによる米株高を受けて上昇した結果、ベンチマーク収益率は+8.69%となりました。

【為替】

ドル/円は、衆議院総選挙の結果などをを受けて10月末にかけて円安ドル高が進行しました。その後、次期FRB議長指名を契機とした米長期金利低下などから円高ドル安が進行する場面もありましたが、期末にかけては米長期金利上昇などをを受け若干円安ドル高の傾向となりました。一方、ユーロ/円は、カタルーニャ州独立問題や予想を上回るGDPなどから、期初から12月半ばにかけては方向感のない状況が続きました。その後、独長期金利の上昇などをを受け円安ユーロ高の傾向となりました。

【外国債券】

米国は、連邦予算の決議案の可決、次期FRB議長指名、雇用統計の結果などから、12月半ばにかけて一進一退の状況が続きました。その後は税制改革への進展期待や堅調な経済指標から上昇(債券価格は低下)しました。ドイツは期初から12月半ばにかけて、スペイン・カタルーニャ州独立問題や、独連立政権協議の決裂などにより低下(債券価格は上昇)しました。その後、独財務省が来年度の国債発行額を今年度より増額する計画を発表すると上昇(債券価格は低下)に転じましたが、為替が円安になったことなどもありベンチマーク収益率は+1.29%となりました。

【外国株式】

堅調な経済指標や好調な企業業績をもとに、10月は米国もドイツも上昇しました。米国はその後も税制改革への進展期待などから上昇しました。ドイツは、ユーロ高などをを受けて11月は下落しましたが、12月に入るとイギリスとEUが離脱条件で大筋合意したことなどをを受けて堅調に推移しました。ベンチマーク収益率は米国の株価上昇などにより+5.69%となりました。

平成29年度 市場環境 (第3四半期)②

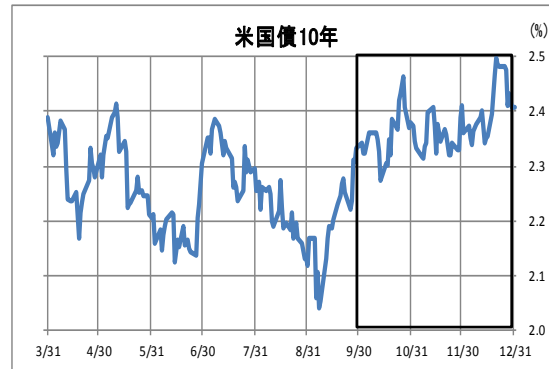
(出典:bloomberg)

10年国債の利回りの推移(日、米、独)

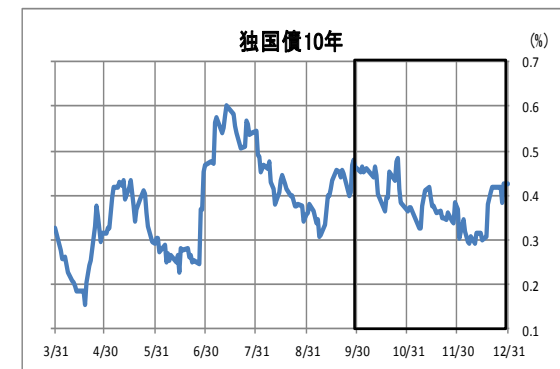
H29.9末 0.06 → H29.12末 0.05



H29.9末 2.33 → H29.12末 2.41

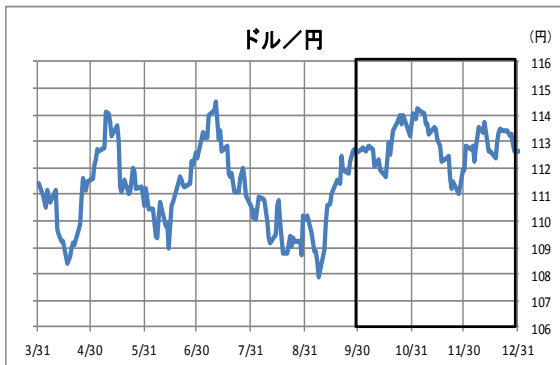


H29.9末 0.46 → H29.12末 0.43

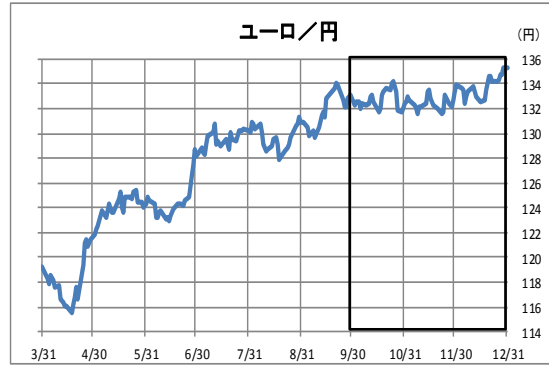


為替レートの推移(ドル・ユーロ)

H29.9末 112.6 → H29.12末 112.7



H29.9末 133.1 → H29.12末 135.3



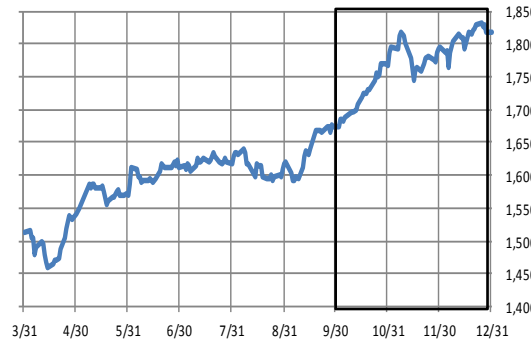
平成29年度 市場環境 (第3四半期)③

国内株式の市場指数の推移

H29.9末 1,675 → H29.12末 1,818

TOPIX

(ポイント)

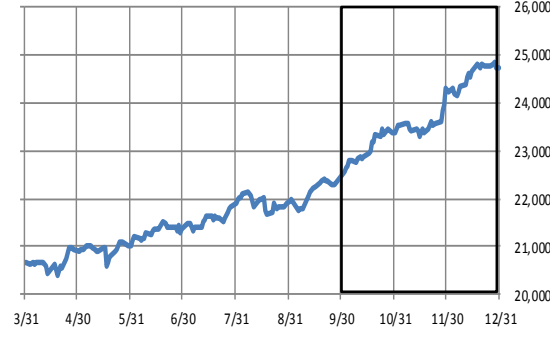


外国株式の市場指数の推移

H29.9末 22,405 → H29.12末 24,719

NYダウ

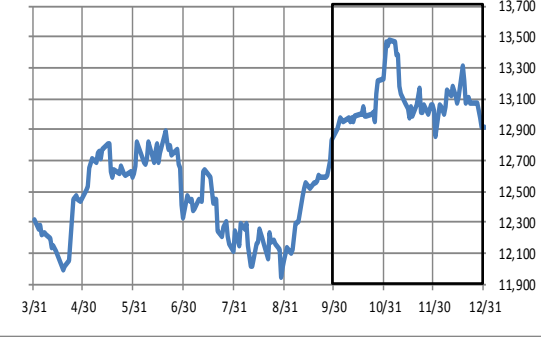
(ドル)



H29.9末 12,829 → H29.12末 12,918

独DAX

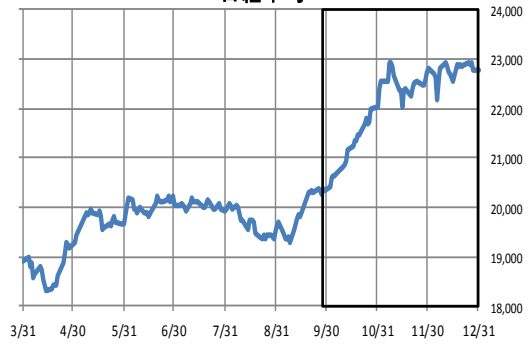
(ポイント)



H29.9末 20,356 → H29.12末 22,765

日経平均

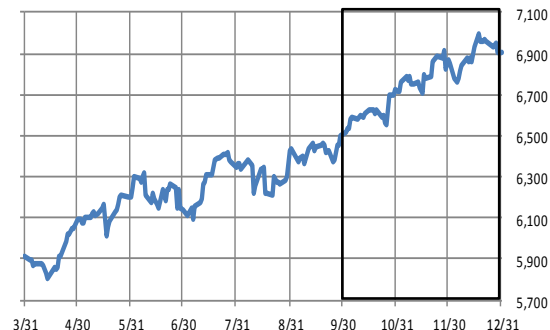
(円)



H29.9末 6,496 → H29.12末 6,903

ナスダック総合

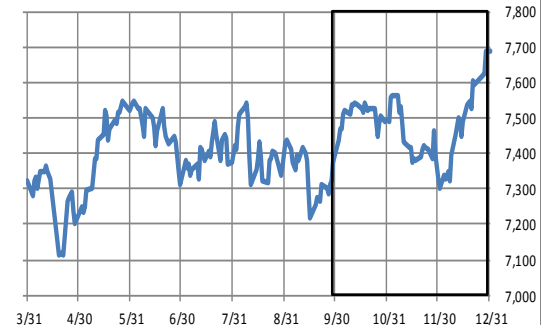
(ポイント)



H29.9末 7,373 → H29.12末 7,688

FTSE100

(ポイント)



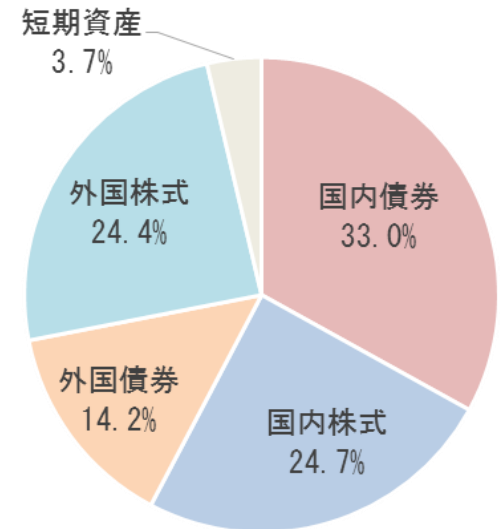
平成29年度 資産構成割合

資産ごとの構成割合は以下のとおりです。

(単位：%)

	平成28年度	平成29年度			
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	39.5	38.7	34.7	33.0	—
国内株式	19.5	22.3	22.8	24.7	—
外国債券	12.1	13.5	13.4	14.2	—
外国株式	20.3	22.7	23.2	24.4	—
短期資産	8.6	2.7	5.9	3.7	—
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—

第3四半期末 資産別の構成割合



(注1)基本ポートフォリオは、国内債券35%(±15%)、国内株式25%(±14%)、外国債券15%(±6%)、外国株式25%(±12%)です(括弧内は、許容乖離幅)。

(注2)ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン等の特性により、国内債券に区分しています。

(注3)上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4)上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

平成29年度 運用利回り

平成29年度第3四半期の修正総合収益率は、資産全体で+3.60%となりました。

(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	3.28	2.80	3.60	—	9.89
国内債券	0.13	0.44	0.35	—	0.89
国内株式	6.84	5.00	8.76	—	21.70
外国債券	4.77	2.44	1.34	—	8.58
外国株式	5.61	5.45	5.51	—	17.29
短期資産	0.00	0.00	0.00	—	0.00

(単位：%)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	1.00	1.18	0.86	—	3.04

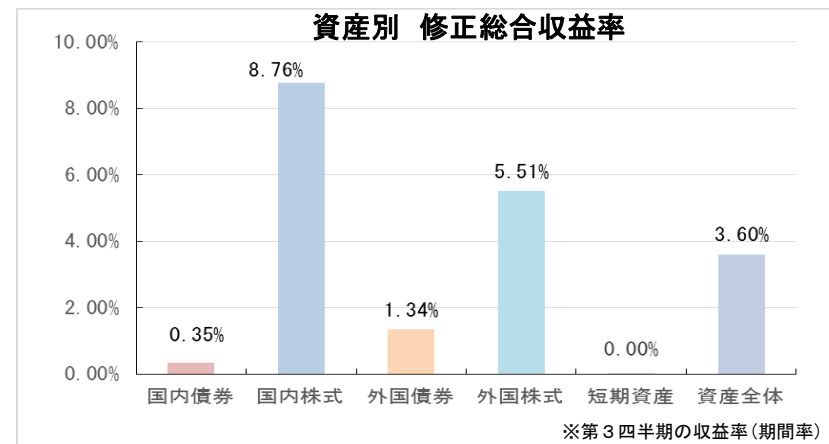
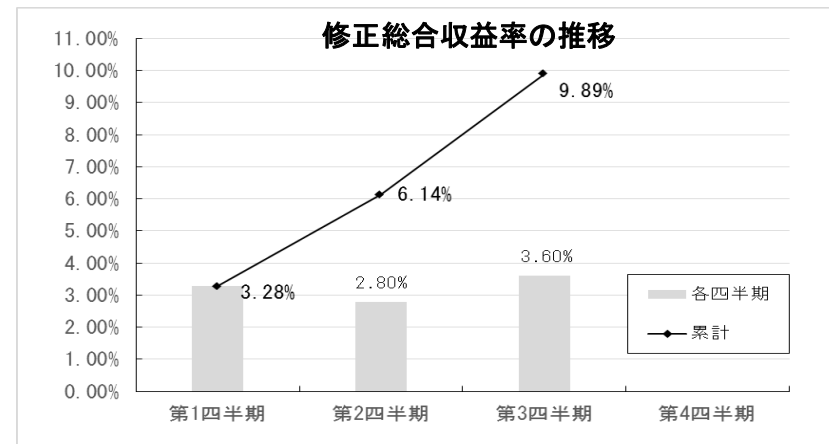
(注1) 各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 「年度計」は平成29年度第3四半期までの収益率です。

(注3) 修正総合収益率及び実現収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注4) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン等の特性により、国内債券に区分しています。

(注5) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考)前年度 運用利回り

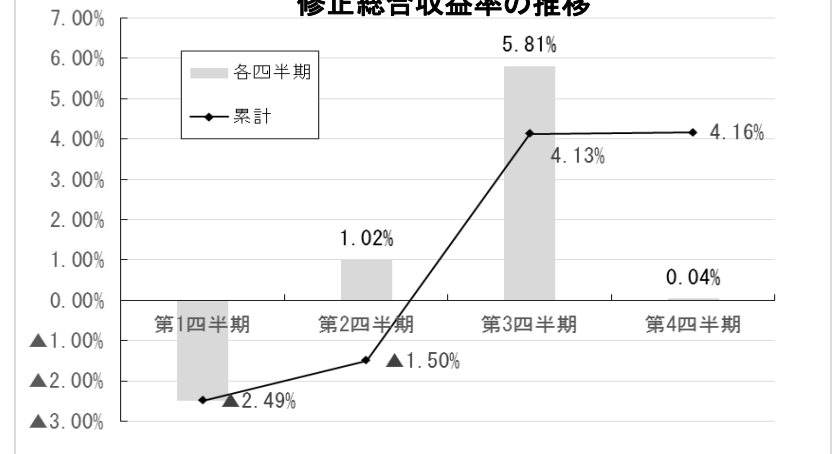
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.49	1.02	5.81	0.04	4.16
国内債券	2.04	▲1.44	▲1.22	▲0.36	▲0.79
国内株式	▲7.21	7.21	14.54	0.72	14.76
外国債券	▲8.16	▲0.59	7.68	▲3.53	▲5.23
外国株式	▲7.87	3.71	16.69	2.46	14.43
短期資産	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

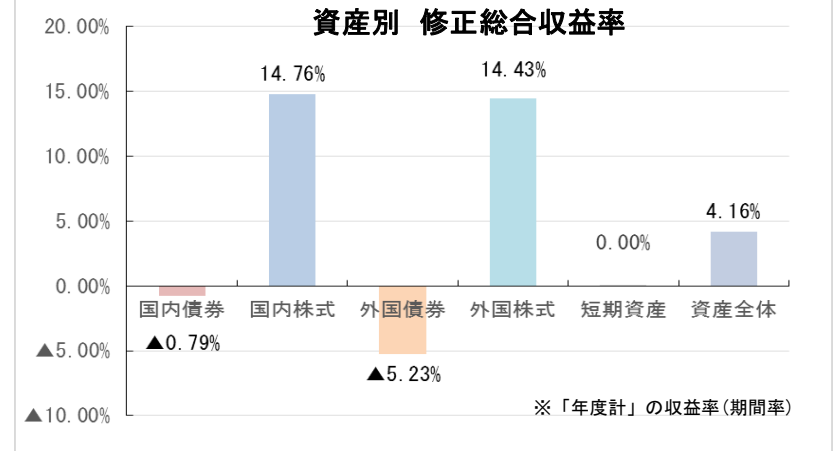
(単位：%)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.60	0.37	0.69	0.58	2.24

修正総合収益率の推移



資産別 修正総合収益率



(注1) 各四半期の収益率は期間率です。

(注2) 修正総合収益率及び実現収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

平成29年度 運用収益額

平成29年度第3四半期の総合収益額は、資産全体で+2,020億円となりました。

(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	1,715	1,524	2,020	—	5,260
国内債券	27	88	66	—	181
国内株式	740	598	1,133	—	2,471
外国債券	319	176	103	—	598
外国株式	629	663	718	—	2,010
短期資産	0	0	0	—	0

(単位：億円)

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	471	568	417	—	1,456

(注1) 「年度計」は平成29年度第3四半期までの収益額です。

(注2) 総合収益額及び実現収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

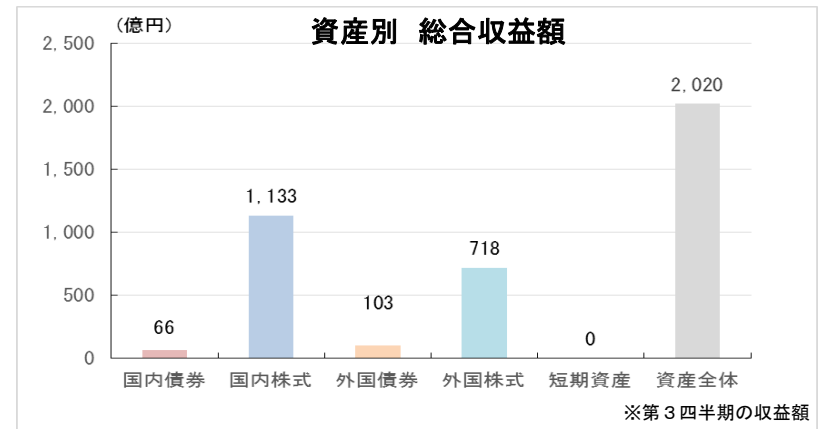
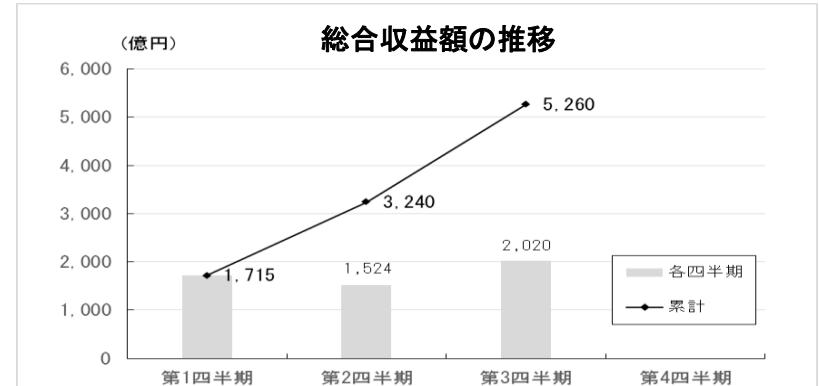
(注3) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注5) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン等の特性により、国内債券に区分しています。

(注6) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

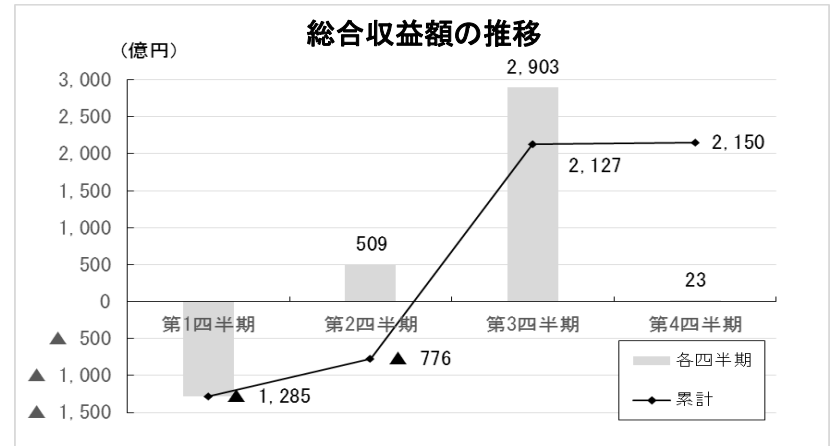
(注7) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考)前年度 運用収益額

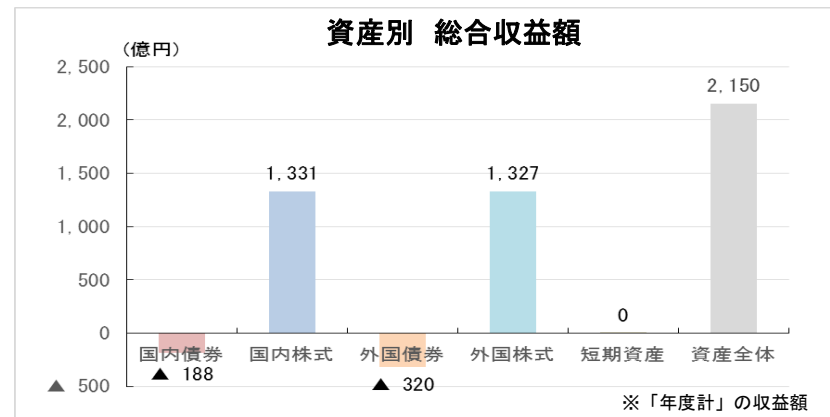
(単位：億円)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲1,285	509	2,903	23	2,150
国内債券	523	▲353	▲280	▲79	▲188
国内株式	▲628	587	1,297	74	1,331
外国債券	▲481	▲32	426	▲233	▲320
外国株式	▲699	307	1,460	260	1,327
短期資産	0	0	0	0	0



(単位：億円)

	平成28年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	287	174	325	279	1,066



(注1) 総合収益額及び実現収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 実現収益額は、売買損益及び利息・配当金収入等です。

(注4) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

平成29年度 資産額

資産ごとの簿価、時価及び評価損益は以下のとおりです。

(単位：億円)

	平成29年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	19,526	20,361	834	18,638	19,331	693	17,981	18,677	695	—	—	—
国内株式	9,341	11,731	2,391	9,852	12,739	2,887	10,217	13,962	3,745	—	—	—
外国債券	6,961	7,099	137	7,225	7,485	259	7,721	8,028	306	—	—	—
外国株式	8,870	11,950	3,080	9,291	12,922	3,632	9,513	13,771	4,257	—	—	—
短期資産	1,426	1,426	0	3,283	3,283	0	2,094	2,094	0	—	—	—
合計	46,125	52,566	6,442	48,289	55,760	7,471	47,527	56,531	9,004	—	—	—

(参考)前年度

(単位：億円)

	平成28年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	22,730	24,690	1,960	22,023	23,497	1,474	20,776	21,891	1,115	20,486	21,454	968
国内株式	7,842	8,053	211	8,073	8,820	747	8,308	10,186	1,878	8,745	10,601	1,856
外国債券	5,713	5,409	▲305	5,743	5,456	▲286	6,256	6,382	127	6,737	6,590	▲148
外国株式	7,411	8,155	745	7,641	8,652	1,010	7,849	10,251	2,402	8,441	11,031	2,590
短期資産	2,163	2,163	0	3,974	3,974	0	2,890	2,890	0	4,649	4,649	0
合計	45,859	48,469	2,610	47,453	50,398	2,945	46,079	51,602	5,523	49,058	54,324	5,266

(注1) ヘッジ付き外貨建て債券は、リスク・リターン等の特性により、国内債券に区分しています。

(注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注3) 上記数値(平成29年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

資金運用に関する専門用語の解説 (50音順) ①

○ 基本ポートフォリオ

統計的な手法により定めた、最適と考えられる資産構成割合(時価ベース)です。

○ 許容乖離幅

資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。

○ 実現収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。売買損益及び利息・配当金収入等の実現収益額を元本(簿価)平均残高で除した元本(簿価)ベースの比率です。

○ 修正総合収益率

運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加味し、時価に基づく収益を把握し、それを簿価平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。

(計算式)

修正総合収益率 = (売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減) / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

(計算式) 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 + 評価損益増減

資金運用に関する専門用語の解説 (50音順) ②

○ ベンチマーク

運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。市町村連合会で採用している各資産のベンチマークは以下のとおりです。

1 国内債券 NOMURA-BPI総合【野村証券金融市場調査部が作成・発表している国内債券市場のベンチマークです。】

※NOMURA-BPI総合は、その著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、当該指数に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該指数の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

2 国内株式 TOPIX(配当込み)【東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。】

※東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。

3 FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)【FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。】

※このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※当該ベンチマークは、シティ債券インデックスのブランド変更に伴い、インデックス名称の中の「シティ」が「FTSE」に変更されたものです。

4 外国株式 MSCI ACWI ex. Japan(円ベース、配当込み)【MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。】

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率。いわゆる市場平均収益率のことです。